

12月3日にサンパール荒川にて不燃化セミナーが開催されました。

●兵庫県立大学防災教育研究センター長 室崎益輝先生



写真出典：防災減災まちづくりニュースより

荒川区の各軒先にある赤いバケツは、平成23年に室崎先生の「大災害時に住民自身の災害対応活動が減災の大きな力になる」との提言をもとに配付されたものです。火災の初期消火を目的としたものですが、地域の防災協力意識の象徴でもあります。



講演「来たる災害に備える～地域の皆さんが主役の災害への備え～」
不燃化セミナーでも、自分達で備え、地域の力を生かす、共助の大切さについてお話がありました。また、元気な高齢者づくりが防災に直結するというお話が印象的でした。

●荒川区中学校防災部 部員による活動報告発表がありました。

区内の全区立中学校に「防災部」が設置されているのをご存知ですか？「助けられる人から助ける人へ」という自助・共助の意識を持って、D級ポンプ操作訓練やジュニア防災検定受験など、特徴ある活動をしています。

中学生の発表の様子



写真出典：荒川区報より



ジャパンレジリエンスアワード2016（強靱化大賞）でグランプリを受賞。

●同時開催で、個別相談会、防災クイズやパネル等の展示がありました。



荒川二・四・七防災まちづくりの会の活動についても、パネルで紹介しました。

町屋駅ツタヤ前の交差点の信号が、歩行者用と車道で分けたパターンになりました。

これは、中学生による改善提案をもとに実現したものです。皆様の声がまちの改善につながります。小さな改善も積み重ねて安心安全なまちにしましょう。



注意 自転車の接触事故を防ぐために・・・
自転車は、押して歩けば歩行者として、乗れば車両としての信号に従ってください。

■お問い合わせ(事務局)

荒川区役所北庁舎 防災都市づくり部防災街づくり推進課 防災街づくり係
電話：(03)3802-3111 (内線)2829 FAX：(03)3802-4104

地震などの災害に強いまちを目指して

荒川二・四・七 まちづくりニュース

第28号

平成29年2月編集発行

荒川二・四・七防災まちづくりの会

荒川二・四・七防災まちづくりの会では、
荒川図書館跡の公園計画のための公園勉強会を開催しています。

- どなたでも参加可能です。公園計画について、また防災まちづくりについて地域のみなさんと一緒に考えていきましょう。



今年度の活動報告

協議会内容	その他
<p>公園計画の基礎知識共有</p> <p>28年度</p> <p>① 公園講義、公園事例紹介</p> <p>② 公園見学会（池袋周辺）</p> <p>③ 見学会報告</p> <p>④ ワークショップ事例紹介、今後の進め方</p>	<p>荒川区から、荒川図書館の建物を、約3年半、仮使用したい旨の説明がありました。詳しくは次頁をご覧ください。</p>

今後の公園検討の予定

協議会内容(予定)	その他
<p>29年度</p> <p>公園計画の前提条件整理 周辺・地域特性、近隣意向など まちづくりワークショップ、歴史探索ほか</p>	<p>Check it out!</p> <p>公園ワークショップについては、また、近くなりましたら、このまちづくりニュースでご案内します。</p>
<p>30年度</p> <p>公園計画の方針検討 公園ワークショップ3回程度</p>	
<p>31年度</p> <p>公園計画の整備内容検討 公園ワークショップ3回程度</p>	
<p>32年度</p> <p>公園管理について 等</p>	<p>仮使用終了 ⇒建物解体へ</p>

第3回公園勉強会

■公園見学会の報告

池袋周辺の5つの公園事例とポケットパークについて、公園の機能や、見学時の様子を報告しました。見学会参加者からも、見学の感想や、荒川図書館跡と比較してのご意見をいただきました。

・南池袋公園

●外国人を含め、いろんな人に使われている点に感心しました。

●芝生広場で寝そべっていたり、飲食を楽しんでいる姿が印象に残っている。

上池袋くすのき公園

●荒川図書館跡に構成が近く、大変参考になった。

●荒川図書館跡は袋地となっている。敷地の使い勝手を改善するような策を考えられないか。

●子どもたちの遊ぶ場所、かつ防災基地としての機能・設備も整っていた。

H28 第3回協議会

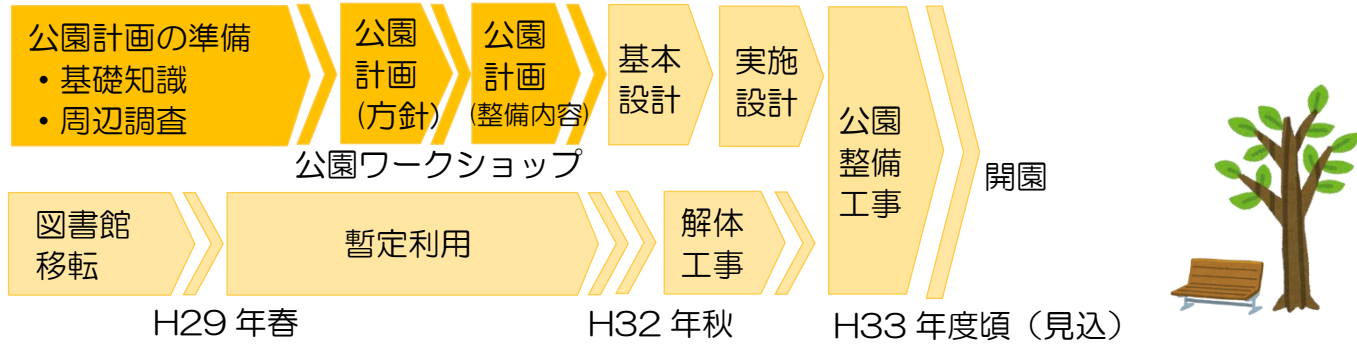
開催日時：平成28年12月5日(月)

19:00~20:30

参加者：16名(荒川二・四・七防災まちづくりの会会員ほか)

■公園計画の流れについて

公園計画のおおまかな流れは以下になります。条件によりませんが、一般に、計画、設計、工事にそれぞれ1年前後見込んでいることが多いと言えます。



旧荒川図書館の暫定利用について

暫定利用についての説明が、12/5の第3回協議会后と、12/19の説明会と、2回行われました。

公共施設の順次更新の進め方(荒川区ホームページより)

宮前公園の整備にあわせて、国家戦略特区制度も活用し、以下のプロセスで施設整備を進めます。

1. 宮前公園内に新保育園舎を建設します。
2. 老朽化が著しい旧小台橋小学校内の小台橋保育園(公設民営)を宮前公園内の新保育園舎に仮移転させます。
3. 旧小台橋小学校舎を解体・除却し、その跡地に新小台橋保育園(民設民営)を整備し、仮移転中の小台橋保育園を移転します。
4. その後、宮前公園内の保育園舎には西尾久保育園を定員拡大させた上で移転し、現西尾久保育園は廃止します。
5. 宮前公園内に新図書館を整備し、尾久図書館を移転します。
6. 旧小台橋小学校を利用している、あさがお福祉作業所は荒川図書館及び旧教育センターへ、多文化共生センターは旧教育センターへ、それぞれ一時移転の後、旧尾久図書館に移転します。

左記の公共施設の更新計画に伴い、あさがお福祉作業所と多文化共生センターの仮移転先が必要となり、**旧荒川図書館の建物を約3年半の予定で使用させていただきます。ご理解ご協力をお願いいたします。**

問合せ先

荒川区総務企画課企画係
03-3802-3111
(内線：2111)

第4回公園勉強会

■公園ワークショップの事例紹介

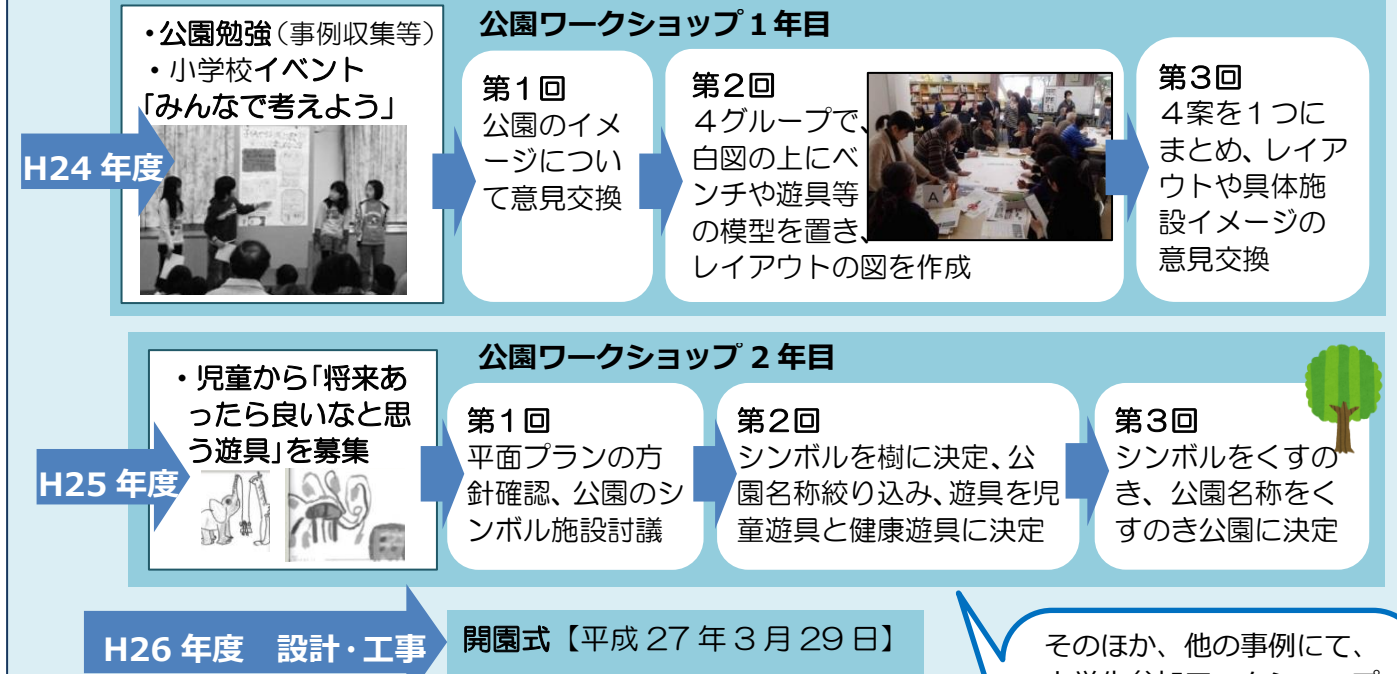
・ワークショップってどんなもの？

ワークショップとは、様々な立場や価値観をもった参加者が一緒にアイデアを出し合い、自由な意見交換により、計画案を検討していく活動です。図面に描いたり、模型を作ったり、皆で手を動かしながら考えることが多いです。

公園ワークショップでの模型づくりの例→写真出典：あおもりまち育てブックより

・ワークショップと公園計画の流れの例

上池袋くすのき公園の例/豊島区 写真出典：豊島区HP



■公園検討の今後の進め方と来年度の活動について

旧図書館建物の暫定利用については、意見がいろいろありましたが、今回、荒川二四七防災まちづくりの会としては、公共施設再編の事情を受け止め、3年半の仮使用がある前提で今後の検討を進めることとしました。

また、今後の進め方について、様々なご意見をいただきました。

意見

●図書館跡の敷地の中だけの議論では意味がない。敷地形状や環境を含めて公園としてふさわしいかどうかから検討したい。

●公園に接する敷地の方の意向は重要なので、きちんと把握したい。

●公園計画だけに終始せず、地区内の他の防災まちづくりについての話も忘れないでほしい。

●この一年、話が進まなかったと感じる。来年度は前進できるような区も尽力してほしい。

●まち歩きは、範囲を広げ、公園への利用ルートも含めて行った方がよい。

●夜のまち歩きも行った方がよい。

●周辺を含め、まちの課題を洗い出して、解決策を探るべきだ。

来年度の活動は、右記の内容を中心に、また、会の中で、公園以外のまち改善策についての時間もとりたいと考えています。

H29年度活動予定	第1回：荒川図書館跡周辺まち歩き、周辺課題検討
	第2回：地域の歴史共有
	第3回：周辺意向の確認、前提条件まとめ